

北信地域の取組～輝く人と恵まれた自然を活かした心豊かで元気な北信州農業～

【めざす将来の姿】

- ◇ 企業の経営体や女性農業者等多様な担い手がいきいきと活動し、消費者ニーズを捉えた県オリジナル品種や地域有望品種等こだわりを持った生産がされ、農業が魅力ある産業として発展しています。
- ◇ 地元産の農産物は、家庭やレストラン等で利用され地産地消が進んでいます。また、直売所や観光農園等と観光業者が連携したグリーン・ツーリズムが発展しています。

重点戦略ごとの取組事項

重点戦略 1：経営感覚に優れた元気な担い手の育成

【達成指標】

項目	H22 基準年	H29 計画	H29 目標年
40歳未満の新規就農者数（単年度）	13 人	31 人	31 人
認定農業者数	900 人	1,000 人	1,000 人
集落営農組織数	22 組織	28 組織	28 組織

- 関係機関の連携による担い手の支援体制の強化
 - ① 第2期長野県食と農業農村振興計画（以下「第2期計画」という）の総括と第3期計画の策定に向けて連携会議等を5回開催
 - ・市町村や農業委員会、JA等の関係機関が連携し、新規就農情報を共有するため、就農推進連絡会議を2回開催
 - ・円滑な就農を推進するため、就農相談や里親研修修了生及び青年就農給付金受給者等を定期的に巡回し、青年等就農計画認定農業者を5名育成
- 新規就農者、女性農業者、定年帰農者等多様な担い手の育成
 - ・農業経営に携わる各世帯員がやり甲斐を持って経営に参画するため、農業道場生等に啓発し、家族経営協定（12戸）を農業委員会及び農業女性団体と連携して推進
 - ・農業簿記講座を4回開催し、3名以上の3級合格者を育成するとともに、若い農業者の個別巡回指導による記帳改善と経営分析を各2回実施
 - ② 女性農業者を対象として農業道場と連携した農業セミナーを開催
- 青年農業者の育成講座「北信州農業道場」の企画・運営
 - ・意欲ある青年農業者を地域の中核的な担い手として養成するため、北信州農業道場の選択制講座5講座、品目別2コース（ぶどう、アスパラガス）を開催
- 青年農業者、女性農業者組織の育成・支援
 - ・女性農業者が農業に誇りと自信を持って農業経営に取り組んでもらうため、「北信州農村女性のつどい」を開催するとともに2団体の農村女性プランの推進支援
- 集落営農組織の育成・支援
 - ・集落営農組織の法人化に向けた支援を1組織行うとともに、経営安定化のため5法人の運営を支援

重点戦略 2：人と環境にやさしい農業の推進

【達成指標】

項目	H22 基準年	H29 計画	H29 目標年
信州の環境にやさしい農産物認証取得面積	273ha	530ha	530ha
環境保全型農業直接支援対策実施面積	(H23) 5ha	30ha	30ha
GAP手法を活用している農家グループ数	10グループ	20グループ	20グループ
侵入防止柵の設置延長	22.7km	100km	100km

- 信州の環境にやさしい農産物認証制度の周知と認定取得へ誘導
 - ・栽培研究グループによるエコファーマーの再認定に向けた講習会を2回以上開催
 - ・環境にやさしい農産物表示認証制度の推進を図るとともに、カラーピーマンに係る実証ほを設置
 - ・病害虫発生予察による適期防除を推進するため、フェロモントラップを果樹8箇所、野菜3箇所を設置、また、クロップナビによるイモチ病発生予察を4か所で設置
- 環境保全型農業直接支援対策実施集落の支援
 - ・環境保全型農業直接交付金の周知と取り組み組織への指導会を2回開催
- 消費者から信頼される農業を目指したGAPの導入推進
 - ・GAPの導入の推進を図るため、モデルグループに対して現地巡回を2回実施
 - ・GAPの組織的な取り組みを推進するため、農産物直売所11か所で巡回指導を実施
- きのこ使用済み培地の再生利用や飼料化、耕畜連携による堆肥活用等の促進
 - ・きのこ使用済み培地の適正な再生利用推進のための現地巡回を2回実施
- 関係機関・団体等と連携した野生鳥獣に負けない集落づくり（個体数調整、集落ぐるみの環境整備、侵入防止柵の設置）の推進
 - ・市町村が作成する鳥獣被害防止計画の改訂支援及び鳥獣被害に強い集落の育成に向けた検討会を2回開催
 - ・ハクビシンによるぶどうの被害防止するため、対策モデル展示ほを2か所で設置、食害調査を2か所で実施
 - ・ニホンシカ等からの被害を防止するため、新たに3kmの防護柵を整備するとともに、野生鳥獣捕獲わな講習会を2回開催、鳥獣被害対策実施隊を4市町村で支援

重点戦略 3：地域資源を活かした個性輝く産地の育成

【達成指標】

項目	H22 基準年	H29 計画	H29 目標年
原産地呼称管理制度認定米面積	7.7ha	45ha	45ha
りんご3兄弟の栽培面積	134ha	162ha	162ha
ぶどうナガノパープル・シャインマスカット等無核品種の面積	45ha	80ha	80ha

項目	H22 基準年	H29 計画	H29 目標年
プラムの栽培面積	56ha	73ha	73ha
アスパラガスの新植、改植面積	15ha	116ha	116ha
きのこの複合経営農家数	237 戸	260 戸	260 戸

- 消費者ニーズを捉えた高品質な農畜産物を生産するため、県オリジナル品種や地域優良品目の導入及びこだわりを持った生産等によるブランド力の向上
 - ㊦生産振興に係る第2期計画の総括と重点振興品目の絞り込みと新たな振興戦略策定のための検討会を5回開催
 - ・リンゴ長果25の現地適応性を把握するため、モデル園3か所で技術適応性調査を2回実施
 - ・ぶどうナガノパープル、シャインマスカットの品質向上と生産拡大のため、モデル園2か所を設置するとともに講習会を5回開催
 - ㊦スモモ長果1（シナノパール）の産地育成を図るため、新植推進（1.2ha）と初期管理の栽培技術支援
 - ・信州黄金シャモの安定生産に向け、統一基準に基づく使用管理の徹底を図るため、定期的な巡回指導を4回実施
 - ・信州プレミアム牛の増産を目指したET子牛の生産頭数を確保（15頭）するとともに、巡回指導及び研修会を開催
- 売れる米づくりに向け、高温障害対策等の栽培技術の励行や新品種の導入による品質食味を重視した米づくり
 - ㊦米政策の見直しに向けた制度の周知と北信地域としての産地のあり方、農業者に対する「目安値」の提示方法等の意見交換会を5回開催
 - ・信頼される米産地実現のため、雑草イネの発生状況を把握するとともに、防除試験ほを4か所、指導会等を3回開催
- ぶどうやアスパラガス、シャクヤク等北信州の特徴ある農産物の高品質安定生産と長期出荷体制を強化するための施設化の推進
 - ・ぶどう等の施設栽培の推進による高品質果実の生産及びスモモ長果1を含めた果樹平棚の整備による安定生産（20ha）
 - ・アスパラガスの雨よけ・簡易雨よけ施設の導入拡大とシャクヤクの施設化の推進
- アスパラガスの病害防除対策の推進に向けた、モデル実証ほを活用した新技術の早期普及
 - ㊦アスパラガスの生産量回復のためのプロジェクトを立ち上げるとともに、技術実証ほ等を5か所設置し、研修会等を4回開催
 - ㊦転作田への作付け推進を図るため、排水対策技術の展示ほを1か所設置するとともに、立ち枯れ性病害防除技術の確立のための実証ほ等を2か所設置
 - ・雨除けハウスの推進と大苗定植（100a）による早期産地化
- 高病原性鳥インフルエンザ及び口蹄疫の蔓延防止のための防疫体制の強化
 - ・高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等の防疫体制を強化するため、関係機関との打ち合わせ会議2回及び初動防疫確保のための防疫演習を1回開催

- JA・市町村と連携した放射性物質に係る農畜産物のサンプル検査による消費者の放射性物質に対する不安の解消
 - ・JAや市町村と連携した、放射性物質に係る農産物サンプル検査の実施
- 食品産業との契約取引による新たな販路の開拓
 - ・契約取引を推進するため、契約取引を希望する生産者及び実需者の掘り起こしを行いリスト化（生産者24件、実需者11件）
 - ・各種商談会の情報提供や個別マッチングの推進による契約に向けた橋渡しの実施（新たに契約取引に取り組む産地19件）
- 6次産業化等による新たな需要拡大の推進支援
 - ・六次産業化法に基づく総合化事業計画作成に向け、地域推進員との連携による助言・支援及び認定事業者の推進支援（新規認定数3件）
 - ㊦総合化事業計画の実現に向けた施設整備（1か所）に関する支援と研修会等の開催
- 伝統野菜等の個性ある野菜栽培の支援
 - ・前坂大根の地元への周知をするため、栽培講習会3回、漬物講習会1回開催
 - ・ばたんこしょうの生産安定に向けた栽培講習会を1回、巡回指導会2回開催
 - ・坂井芋の収量確保及び品質改善に向けた試験を1か所で実施する他、常盤牛蒡を含め知名度の向上に向けた検討会等を開催

重点戦略4：安全で住み良い農村づくり

【達成指標】

項目	H22 基準年	H29 計画	H29 目標年
地すべり対策工事による土砂災害未然防止面積	929ha	960ha	960ha
基幹水利施設の機能診断・保全計画策定済延長	14km	60km	60km
地域ぐるみの多面的機能支払等取組面積	2,512ha	4,213ha	4,213ha

- 農業・農村の多面的機能の維持や農村コミュニティの活性化に向けた、地域ぐるみの協働活動への支援
 - ・多面的機能支払や中山間直接支払により協働活動を支援
 - ㊦市町村や土地改良区等関係機関を巡回し、多面的機能支払の取組を新たに5組織（飯山市・木島平村）で推進
- 取組が進んでいない地域において、市町村等と連携しながら、一層の制度の周知と活動組織の体制づくりの支援
 - ㊦長野県中野土地改良区（中野市）が管轄する区域内での多面的機能支払活動組織の設立を中野市と連携し推進
- 地すべり防止対策や中山間地域の農業用水路の保全対策の推進
 - ・計画的な地すべり防止対策を進め、土砂災害の防止を図り、梨久保地区（中野市）、七瀬地区（中野市）の2地区で概成
 - ・関係者の地すべりに対する理解を深めるとともに地すべり対策の円滑な実施を図るため、地すべり協議会の研修等を2回以上開催

北信・Hokushin

- ・ため池における耐震調査に基づき、永田地区（中野市）で事業計画を策定するとともに、上組ため池地区（飯山市）で耐震対策工事に着手
- ・栄村の農業復興に向けた中山間総合整備事業における区画整理工事を推進
- ・自然エネルギーの普及に向けた小水力発電等を推進するため、市町村や土地改良区等に情報提供を行い、自然エネルギー（小水力、太陽光）の普及を推進するとともに、豊郷地区（野沢温泉村）で小水力発電工事に着手
- 農業水利施設の計画的な更新と長寿命化対策の推進
 - ・基幹水利施設の機能診断、保全計画策定を計画的に実施するとともに、大沼池地区（中野市）、横手・畔ノ上地区（山ノ内町）の2か所で事業に着手
 - ・策定した保全計画等に基づき、八ヶ郷地区（中野市）、夜間瀬剣沢地区（山ノ内町）、夜間瀬地区（山ノ内町）の3か所で保全対策工事を推進
- 耕作放棄地の再生に向けた地域ぐるみによる特色ある地域振興作物の作付推進
 - ・交付金活用による耕作放棄地の再生と振興作物の作付推進を実施

重点戦略5：地域食文化の伝承と農作業体験等の都市農村交流の推進

【達成指標】

項目	H22 基準年	H29 計画	H29 目標年
都市農村交流人口	31,637人	37,000人	37,000人
農産物直売所の販売額	10億円	14億円	14億円
「おいしい信州ふーど（風土）」SHOP数	0店	50店	50店

- インターネットやマップを活かした「おいしい信州ふーど（風土）」など地元ならではの食の積極的な発信
 - ・「おいしい信州ふーど（風土）」物語の県ホームページ等による情報提供
 - ・「おいしい信州ふーど（風土）」名人の育成と「おいしい信州ふーど（風土）」物語を活用した地域外への情報発信
- 食、健康、体験、ふるさと回帰をキーワードに、観光と連携したグリーン・ツーリズム等都市交流を支援
 - ⑦ 「食」をテーマとした観光業等と連携した交流企画の開催（2回）及び食育と連携した啓発企画の開催
 - ・地元食材を使った料理講習会を3回開催するとともに、農作業から調理加工まで体験できる企画の開催
- 女性の技を活かした、次世代・消費者へ郷土の味の伝承と地元農産物の利活用拡大
 - ・次世代・一般消費者へ郷土の味を伝承するため、笹もち、おやき、やしょうまづくり講習会を3回開催
- 農産物直売所及び観光農園の資質向上に向けた活動支援
 - ・直売所の質の向上を図るため、栽培講習会を3回開催するとともに、農村女性グループによる都市との交流会の実施を支援